

ゆうかり放送委員会提供

ゆうかりに乾杯

第18回放送の概要 (2010年5月29日放送)

パーソナリティ

さくら (安本久美子)
タロウ (佃 由晃)
なかちゃん (中嶋邦弘)

コアラさんの地域瓦版

アコちゃん (三木文子)



ミキサー

門ちゃん (門田成延)
一ノ瀬悟

相談役

わだかん (和田幹司)

会計

小山俊則

一番目立つのは桂福点さん

(CM)「え？有馬のごんそば知ってる？ほんと？神戸の奥座敷、有馬温泉にある本格手打ちそばの店、ごんそばで～す。お勧めは信州産石うすびき粉、ダツタンソバで～す。有馬ごんそばよろしく。FMわいわい聞いた、1000円以上200円割引しま～す。今日は有馬ごんそばさまのご協力をいただきました。

1. オープニング

今日はさくらさんとなかちゃんがお休みで、代わりにわだかんさんがパーソナリティを勤めます。桂福点さんがスタジオに來られ、FMわいわいの番組の一つである「おきらく島ラジオ」が計画しているお祭りについて紹介があった。お祭りは9月26日(日)に六間道開商店街を借りて、FMわいわいの横のつながりや地域の皆さんとの交流を兼ねた「おきらく島祭り」を開催する。各番組からブースを出し、店を出すとか、フラダンスをすとかして参加し、地域の人、高齢者、子供、障害者関係なく楽しめる祭りをしたい。ゆうかりの皆さんの力を借りたい。

2. ゲストコーナ：済麟寺住職 明石和成さん (58 陽会)

兵庫幼稚園、入江小学校、兵庫中学、兵庫高校へ進んだ。兵庫高校は元は頭は丸坊主で学生服、女性徒は紺色の制服であった。2年生の2学期頃から東大安田講堂の学生運動の流れを受けて、生徒会も含めて学校の校則を変えていく中で頭髪、服装が自由化に変わった。明石さんは丸坊主、学生服で通した。このような流れの中で授業は殆ど行われなかった。授業をしない間、自由化の流れが人権問題に変わって行き、2年生の3学期は構内で討論会が続き、講堂でそれぞれの先生を壇上に上げ、生徒が先生に「名前を言ってください」「年はいくつですか」「学校以外でアルバイトしたことがありますか」「今まで差別をしたことがありますか」など、先生を問い詰め糾弾していた。当時の総括といわれていたことを行っていた。3年生の時に校長先生が代わり、その朝礼の時に2年生の生徒がナイフを持って校長に詰め寄ったが払いのけられ大事には至らなかったことがあった。その生徒は放送室に立て籠もり、自分の言いたいことを言ったあと落ち着きを取り戻し、先生の手を握った。この時学校は警察を入れることをしなかったのはさすが兵庫高校と思った。この事実は同級生は皆知っているので、隠すことでもないと考え話している。この紛争は須磨にある高校で女性が校門で焼身自殺したことをきっかけに落ち着いた。現在兵庫高校2年生の息子はラグビー部のトレーナーをしながらトレーナーを着て登校している。明石さんの一廻り下のあこちゃんは授業を受けると意識からTシャツはいやなので襟のついたポロシャツを着ていた。でも文化祭や体育祭のあとは煌びやかであった。明石

さんは文化祭のとき着替える必要があり、教室のカーテンを利用してインドやタイの僧侶の格好をしていた。

明石さんはたかとり教会に昔から出入りしている。仏教とキリスト教の交流が始まったきっかけは阪神淡路大震災である。神田神父との出会いは震災の年に開催した「市民とNGOの防災フォーラム」に向けて準備段階の実行委員会で打ち合わせたのがきっかけである。またこの年の1月17日に、1000人程度の人が入れる兵庫区の真光寺でろうそく追悼を行った。一般の方にもろうそくをつけていただくため7000本のろうそくを用意した。ろうそくには亡くなった方の名前や寄付していただいた方の名前を書き、1本500円で買っていただき灯していただいた。もともとなる灯は1月17日の5時46分に伊丹昆陽池の赤松弘揮さんが代表のボランティア団体「ユー・アイ・アソシエーション」にもらいにいて、夕方の5時46分に灯した。その後宗教者が何が出来て何が出来なかったかについての反省も含めて、プロテスタントの草地賢一さんの呼びかけで、たかとり教会の神田神父さんをはじめ宗教者6人の「震災を生きる宗教者のつどい（わがきの会）」が設立された。仏教関係2人、神道関係2人、キリスト教関係2人が集まり、宗教者のつどいから何らかのメッセージを発信することにし、震災の3年目の1月17日にメッセージ（「いのり 追悼と新生」）を皆さんに披露した。

たかとり教会は硬いイメージがあったが、震災をきっかけに日本人だけでなく定住の外国人の方にも横のつながりが出来上がっていき、コミュニティの場になった。たかとり教会はオープンスペースが大きく門を開いている（浄土宗では広開浄土門という）。明石さんの息子さんの得度式を行ったときは友人の一人として神田神父さんに来ていただいた。神田神父との交流がきっかけでFMわいわいで朝の番組「おはようわいわい」を朝8時から8時55分まで放送していた。音楽を交え地域のイベント、壱という数字はどんな数字ですかといったことを漢字辞典で紐解きながら和ちゃんのコーナなどの放送をしていたことがある。

違いのわかる人になることが大事だと思っている。宗教者が宗教の壁を越えるということは同化することではなく一緒にやっていって違いがわかること、すなわち自分のセクトを一生懸命勉強することで違いがわかってくる。

1月17日のたかとり教会の追悼行事は、この4~5年神父さんの他僧侶が20人ほど来られ法螺貝を吹いたり非常に厳かな雰囲気で行われている。これは全日本仏教青年会に加盟しているJBクラブ（神戸青年仏教徒会）が震災の1周年忌に、神戸市内を7コースに分けて全国から集まった僧侶700人を100人ずつに分け朝5時46分に市内のそれぞれのスタート地点から一斉に歩いて慰霊行脚をし、11時に真光寺に最終的には1000人集まった。この流れがたかとり教会の今の追悼行事につながっている。

播磨社会復帰促進センターで行っている受刑者に対する浄土宗の講話は、受刑者がとりあえず反省することが大事であるので反省の材料になればと思ってやっている。受刑者の顔を見ていると理解されているのではと思っている。

3. ゆうかり大好きコアラさんの地域瓦版

6月5日（土）福原遷都まつり830年祭が開催されます。パレードは11時に宝地院を出発、荒田八幡宮、平野市場、雪御所を回って平野小学校楠校舎に行きます。チンドン屋も歩く子ども御輿や仮装行列もあります。13時30分から楠校舎でコンサートとアトラクションがあります。同じ日に妹尾河童さんの講演会「河童が語る舞台裏おもて」が兵庫県立美術館のミュージアムホールで開催されます。

4. 来月のゲスト

兵庫校長の江本先生に最近の兵庫高校についてお話を伺います。

番組に対するご意見、ご感想はこちらまで：buyou49@nifmail.jp